指標から見た最近の
県経済の動向
（要 約 版）

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課　（平成２１年1月５日公表）　http://www.pref.tottori.jp/toukei/

●需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。（10月）
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を下回ったが、用途別着工建築物工事金額は前年を上回った。（11月）

●産業面・・・鉱工業は、このところ弱い動きがみられる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。（10月）

●雇用面・・・有効求人倍率は、厳しい状況が続いている。
現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。（10月）
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。（11月）

○需要面の動き

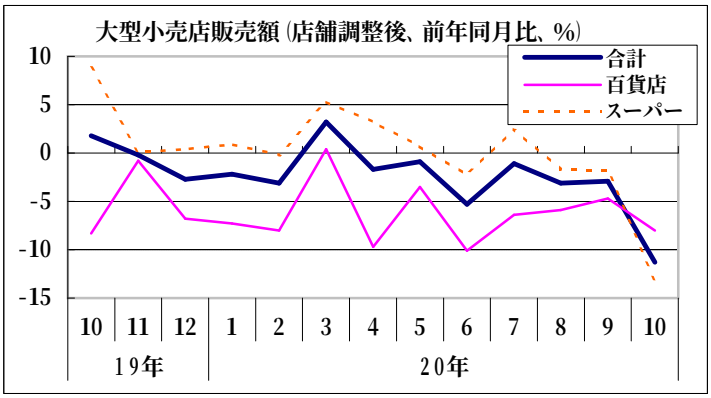
大型小売店販売額（10月）

全店舗の販売額は、48億3，773万円（前年同月比11．3％減）と7か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも7か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額（万円）	前年同月比	
合　計	483,773	▲11．3	（▲11．3）
百貨店	185,828	▲8．0	（▲8．0）
スーパー	297,945	▲13．2	（▲13．2）

（　）内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額（10月）

30億6，496万円（前年同月比5．4％減）と8か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数（11月）

1，539台（前年同月比9．1％減）と4か月続いて前年を下回った。軽自動車が2か月続いて前年を上回ったものの、普通車、小型車ともに前年を下回った。

新設住宅着工戸数（11月）

133戸（前年同月比24．4％減）と2か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、持家の減少（前年同月同比22．0％減）が大きかった。

用途別着工建築物工事金額（11月）

22億5，670万円（前年同月比177．1％増）と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、宿泊業、飲食サービス業用（前年同月比5，087．5％増）等が前年を上回った。

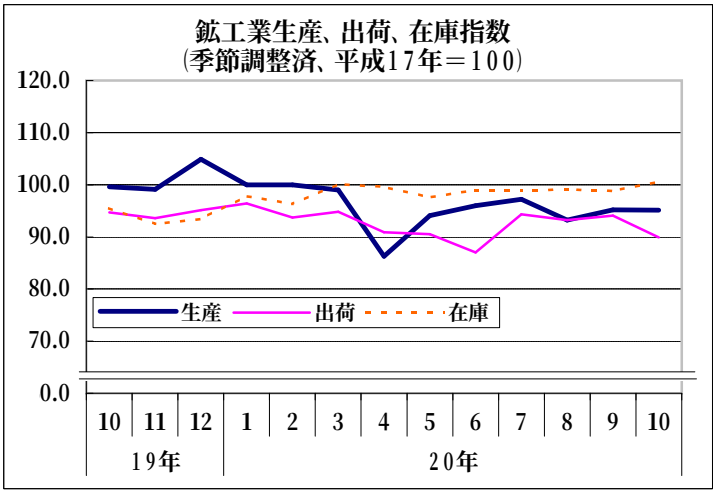
公共工事請負金額（11月）

38億2，200万円（前年同月比33．7％減）と3か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減（前年同月比29．9％減）が大きな割合を占めた。

○産業面の動き

鉱工業指数（10月）

生産指数（季節調整済）は95．1（前月比0．1％低下）と2か月ぶりに低下し、原指数は104．6（前年同月比4．6％低下）と2か月ぶりに低下した。
内訳を前月比でみると、食料品・たばこが3．7％低下、電子部品・デバイスが7．4％上昇、電気機械が20．2％上昇、一般機械が28．6％上昇した。
在庫指数（季節調整済）は100．6と前月比1．8％上昇した。



大口需要電力実績（10月）
137，501千kwh（前年同月比7．9％減）と3か月続いて前年を下回り、鉱工業も全ての区分で減少し9．2％減少した。

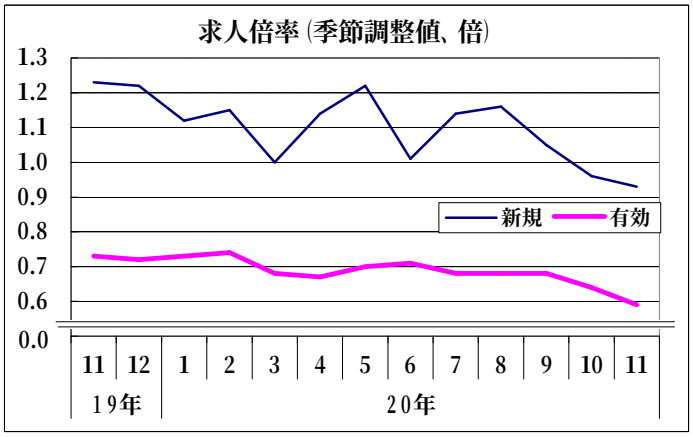
青果物卸売量（11月、鳥取市場）
野菜が1，318t（前年同月比6．7％減）と3か月ぶりに前年を下回り、果実は1，106t（前年同月比1．7％増）と3か月続いて前年を上回った。

漁獲量（11月、境港）
11，338t（前年同月比6．1％減）と6か月続いて前年を下回った。

○雇用・金融面の動き

新規求人倍率（11月）
0．93倍（前月差0．03ポイント低下、前年同月差0．30ポイント低下）であった。なお、新規求人数は、3，183人（前年同月比21．7％減）と14か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率（11月）
0．59倍（前月差0．05ポイント低下、前年同月差0．14ポイント低下）と5か月続いて0．7倍を割っている。また、0．5倍台となったのは、平成14年3月（0．58倍）以来である。



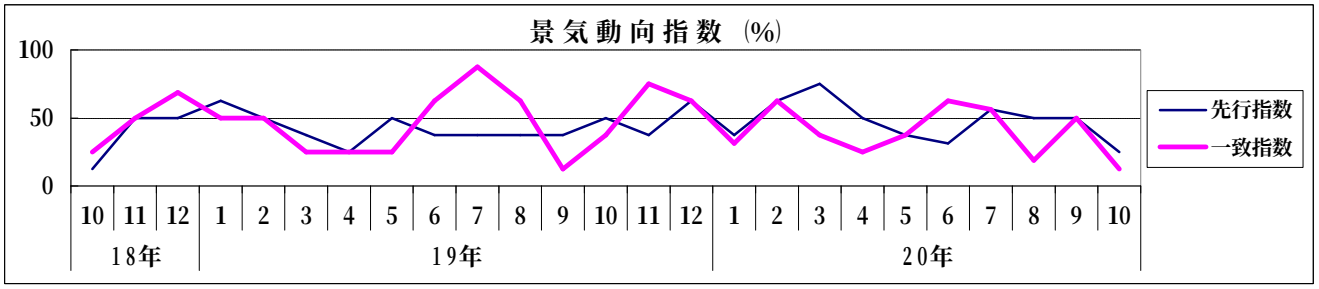
現金給与総額（10月）
250，866円（前年同月比0．5％減）と3か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、250，748円（前年同月比0．4％減）で3か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間（10月）
9．7時間(前年同月比1．0％減)と3か月続いて前年を下回った。主力の製造業は8．3％減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業（前年同月比40．0％増）等で前年を上回り、建設業（前年同月比42．5％減）等で前年を下回った。

預金・貸出金残高（10月末）
預金残高は、1兆8，394億円（前年同月比0．3％減）と2か月続いて前年を下回り、貸出金残高は、1兆1，197億円（前年同月比1．7％減）と26か月続いて前年を下回った。

○参　考

鳥取県景気動向指数（10月）
先行指数25．0％、一致指数12．5％、遅行指数20．0％となった。
先行指数は4か月ぶりに50％を下回った。
一致指数は2か月ぶりに50％を下回った。
遅行指数は3か月続いて50％を下回った。



企業倒産（11月）
件数は8件（前年同月比33．3％増）で2か月ぶりに前年を上回り、負債総額は32億6，500万円（前年同月比21．1％増）で3か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数（11月、鳥取市、総合、平成17年＝100）
101．4となり、前月比（0．4％下落）は3か月続いて下落し、前年同月比（1．6％上昇）は13か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口（12月1日現在）
594，661人で、前月と比べて102人（0．02％）減少し、前年同月と比べて5，098人（0．85％）減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査（平成20年11月調査）
平成20年10～12月期は、平成20年7～9月期に比べると景気はきわめて不調で、売上高はやや不調、経常利益は不調である。
平成21年1～3月期は、平成20年10～12月期に比べると景気、売上高、経常利益ともきわめて不調となる見通しとなっている。